

**製品名:** リン酸化ヌクレオホスミン (Thr199) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe02863

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 38 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NPM1
別名	B23; NPM
遺伝子 ID	4869
SwissProt ID	P06748
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

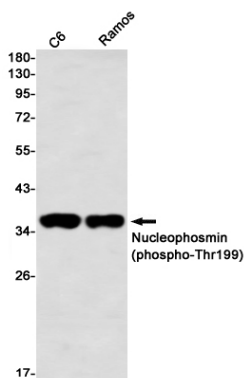
リボソーム生合成、中心体複製、タンパク質シャペロン、ヒストン組み立て、細胞増殖、腫瘍抑制因子 p53/TP53 および ARF の調節

など、多様な細胞プロセスに関与しています。リボソームに結合して、おそらくリボソームの核外輸送を促進します。核小体のリボ核タンパク質構造に関連し、一本鎖核酸に結合します。コアヒストン H3、H2B、および H4 のシャペロニンとして機能します。アプリン/アピリミジン (AP) 二本鎖 DNA に対する APEX1 エンドヌクレアーゼ活性を刺激しますが、AP 一本鎖 RNA に対する APEX1 エンドヌクレアーゼ活性は阻害します。rDNA 上の AP の修復と酸化 rRNA 分子の除去を行う核小体内の APEX1 エンドヌクレアーゼ活性を制御する可能性があります。BRCA2 と連携して、中心体複製を制御します。中心小体複製を制御する： PLK2 によるリン酸化は中心小体複製を誘導する。EIF2AK2/PKR の活性化を負に制御し、EIF2AK2/PKR の自己リン酸化を阻害することでアポトーシスを抑制する。ATF5 による細胞増殖阻害作用に拮抗し、ATF5 誘導性の G2/M 期遮断を軽減する (PubMed:22528486)。MYC と複合体を形成することで、MYC 標的遺伝子の転写を促進する (PubMed:25956029)。

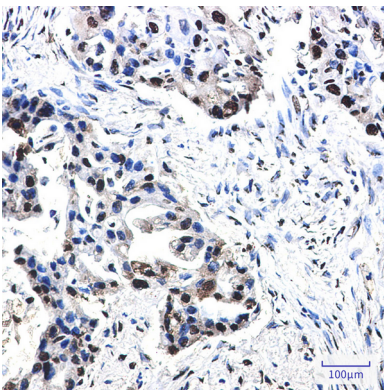
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



C6、Ramos 溶解物中の Nucleophosmin (Phospho-Thr199) の Phospho-Nucleophosmin (Thr199) 抗体を使用したウエスタンブロット分析。



ヌクレオホスミン (リン酸化スレオニン 199) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。